

神戸市会議員

市政報告

岡田 ゆうじ

神戸市会本会議

発行：新しい自民党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

2025.12

No.71

中央市民病院の経営難

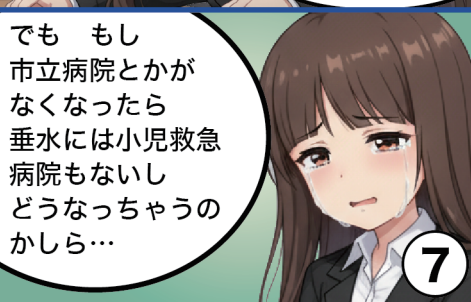
深夜未明…



中央市民病院の令和6年度収支は
約31.1億円の赤字（県内ワースト1）
医師不足と過重労働の問題も
指摘されており 患者安全管理上の
重大違反も近年続発
労働基準監督署からの
是正勧告も多数出ています



「断らない病院」=神戸市民の健康と
安全にとっての「最後の砦」と信頼
されている中央市民病院ですが
特に救急受け入れはパンク状態
コロナ禍のリバウンドと高齢化に
伴う不採算医療の増加も相まって
経営の存続が危ぶまれています



私 岡田ゆうじは
過度に中央市民病院に
患者が集中する現状を見直し
初期（軽症）・二次・三次（致命傷）
の機能分担の明確化や地域での
救急患者受け入れの増加を通じて
中央市民病院の運営を立て直す
よう議会で訴えています

中央市民病院の経営難について

○委員（岡田ゆうじ） 中央市民病院の不祥事・悪いニュースが立て続いている。**去年の赤字が約 31.1 億円にまで上った**。患者安全管理上の重大違反もこの 1 年で複数起こっており、労働基準監督署からの是正勧告もここ 5～6 年の間で 3 件ある。

今、中央市民病院に神戸市として運営費負担金が幾らぐらい投入されているのか。**病床稼働率 100%になれば黒字になるのか？**

○健康局 今年の 5 月に NHK の E テレで、中央市民病院における医師の働き方改革への対応状況に加え、**死亡事故とか労働基準監督署より指摘を受けた事案についても取り上げられたところ**。

市民の生命と安全を守る市民病院機構におきまして、医療事故による死亡事案が発生したことについては誠に残念に思っている。神戸市としては、市民病院機構が医療安全管理体制の確保をはじめ市民の生命・健康を守る使命を果たせるようにしっかり取り組んでまいりたい。

地方独立行政法人では独立採算制を前提とし、不採算医療等に関して自治体から運営費負担金という形で支出をしている。今現在、神戸市のほうから機構に対し、**年間約 61 億ほどの運営負担金を支出**しており、そのうち中央市民病院の合計が 37 億円。

仮に中央市民病院で稼働率が 100%になった場合、理論値で計算すると、**100%であったとしても経常損益としては約 8 億円の赤字**となる。

岡田ゆうじ

○委員（岡田ゆうじ） **病床稼働率 100%で赤字なら手の打ちようがない**。しかし、実際全国の自治体病院を見ると黒字になっているところもある。

中央市民病院はコンビニみたいに 24 時間やっているが、中央区の周辺の診療所や病院は 5～6 時に閉まっている。それら開業医の年収は中央市民病院の勤務医よりはるかに高い。中央市民病院と周りの地域とで機能分担がなされておらず、神戸の場合は極端に中央市民病院信仰があるから**軽症患者が殺到している**。これでは永遠に赤字体質と不祥事はなくなる。

仙台市のトリアージ、福岡市の市立こども病院、横浜市の公設民営方式など、他都市に倣うべき点は多いのではないか。

○熊谷健康局長 機能分担について御指摘のとおり、救急医療体制を確保していくためには、一部の医療機関に過度な負担がかからないように受入れの分散、役割分担を図ることが重要。

先生御指摘のとおり、中央市民病院が本来の能力を十分に発揮するために、市民への広報・啓発、あるいはシャープ 7119 の利用促進を積極的に行うことで、**救急医療機関の受入れ分散、役割分担、あるいは負担軽減を図り**、市内の救急医療体制の確保に努めていきたい。

全国で 86%の公立病院が赤字というふうに言われているが、1 つ 1 つ見てみると 6 年度の決算で黒字となっているところも確かにある。ほかの病院を参考にして、取り入れるものは取り入れていくというような努力を続けていきたい。

熊谷保徳
健康局長



安全・安心のまちづくりを市民の皆様と共に！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL：090-9259-1555 / FAX：078-330-2335

LINE で感想等
お寄せ下さい→
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net

